

KBI NEWS

〒630-0266
 奈良県生駒市門前町 22-1
 TEL : 0743-70-8600
 FAX : 0743-70-8601
 編集・発行人：大田裕作
 郵便振替：01140-6-67708
 銀行：尼崎信用金庫上ヶ原支店 普通 0015453
 Eメールアドレス：kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
 ホームページ：http://www.kbiwave.com



さあ、天を見上げなさい

関西聖書学院 理事長

福野 正和



KBI理事長として十五年間ご奉仕して下さった敬愛する豊村善典師の後任として、今年四月から新理事長に就任しました。これからの霊的責任を思い、祈っている時に与えられたのが「さあ、天を見上げなさい。」(創世記十五章五節)という御言葉でした。突然天井が開かれ、天からの光が差し込んで来たような感じでした。「天を見上げる」とはどんなことを意味するのでしょうか？

第一に「神のご支配の領域を見上げる」ということです。旧約において、「天」は人間の支配に属さない、超越的な神の支配領域を指しています。「あなたの聖なる住まいの天から」(申命記二十六章十五節、マタイ五章三十四節)と、天は「神の住居」とされているのです。天を見上げるとき、今まで導かれて来た道のりも将来の計画も、すべてが神の御手の中にあると認めて生きることを意味します。物事が人間の思いの中につまでも留まっていると、それは不安を生み出し、前進することへの恐れにつながって行きます。自分は何ができるかよりも、主の全能の御手にすべてをゆだねて歩むことの方が、はるかに有益で将来への希望に満たされるのです。

第二に「神のご臨在のなかにへりくだること」を教えています。神はアブラムに「星を数えることができるなら、それを数えなさい。」と言われました。それは、星がいくつあるかを調べよと言われたのではなく、「数えること」への信仰の従順と、「数えきれないことを知る」ことにより、全能者なる神の御前にへりくだって生きること

感や自己憐憫、憂うつな感情は、自分の力により頼んで何かをやるうとする

と落ち込んでしまう「エリヤのほら穴」です。神はアブラムに「外に連れ出して仰せられた」のです。エリヤにも「外に出て」と命じられました。神は「連れ出される神」です。「事は人間の願いや努力によるのではなく、あわれんでくださる神によるのです」という御言葉が実現するためののです。(ローマ九章十六節)

第三に「天の父にあなたの顔を見せること」を意味しています。天の父はあなたの顔を見たいのです。それは、理屈抜きにあなたを愛しておられるからです。喜びの顔だけではなく、涙の顔や時には失望した暗い顔も見たいのです。私たちが「神の家族」であり、息子や娘にされているからなのです。天を見上げる人は、その人生が変えられて行きます。神の偉大な臨在の恵みの中を生きるよう御霊に導かれ、天からの霊的祝福を体験して行くからです。そのように二〇一六年度が導かれることを信じつつ祈ります。すべての栄光を主に！

残る生涯は…

関西聖書学院 学院長

大田 裕作



「測り綱は、私の好む所に落ちた。まことに、私への、すばらしいゆずりの地だ。」

詩篇十六篇六節

私にとって、主はいつもみ言葉のようなお方でした。西宮時代のKBIの四階に下宿することを通して救われた私は、そのまま献身してKBIに学び、西宮での牧会の後、インドネシアでの宣教に従事し、帰国後は母校での奉仕に導かれました。その都度「測り綱は好む所に落ちた」と感謝しながら今日までやってきました。

KBIでは先達の先生方に支えられながら、ともにKBIの方向性を模索してきました。

KBIに植えられているユニークな賜物と使命は何か。それは十字架と聖霊の現実性によって捧げられていく献身・礼拝からおのずと実を結んでいく宣教への流れです。今後ともその流れを大切にしていきます。じっくり十字架に根差し、安息できる器づくりを基軸としつつ、KBIが愛する祖国の宣教の一つの震源地たりうるよう祈りを重ねています。それは必然的に世界宣教への貢献に繋がってきます。

折しも九月には神戸で第六回日本伝道会議がもたれます。私もその分科会「教会増殖」の準備委員に加えられています。従来型の教会成長と今後摸索されていく宣教拠点の増殖が相乗効果を生み、この国の津々浦々で福音が分かち合われていくことを夢見ています。教会員が受け身のな礼拝出席者から、次の人へと恵みを分かち与えていける証し人になっていくように、国中のいたるところで福音が語られ、主の御名で祈る場所が起こされていくように願っています。私の残る生涯はそのために捧げていきたいと願っています。

入学の証



一年 山田成也

私は牧師家庭に生まれ、実家が教会という環境で育ったので、礼拝に参加するのは自然なことであり、神様の存在は受け入れると云うよりも、家族のように初めからいる感覚でした。

献身を意識するようになったのは、高校一年生の時、牧師である父が癌になり、その闘病生活を通してでした。ある日、父と病室で話をしていると、三人の看護師が「山田さん、あの時のお話ありがとうございます。すぐく助かりました。」とお礼を言いに来ました。余命宣告もされ、自分の命があと僅かなのに、他人のために尽くしている姿に驚きました。同時に、父のような牧師になりたいという思いが湧いてきました。

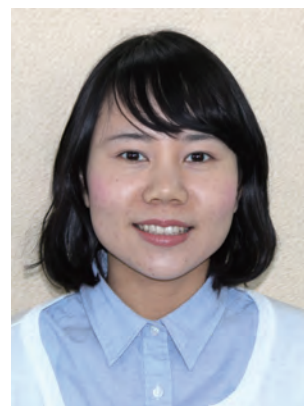
その後、東京基督教大学に入学し、聖書の学びや教会奉仕等、また様々な人間関係をを通して、第二コリント一章三、五節の御言葉が与えられ、傷ついた者に寄添う牧会者になるという思いが与えられました。

大学卒業後は、営業や電気工事の仕事をし、昨年電気工事屋として独立しました。仕事は順調でしたが、このままでいいのだろうかという不安がありました。献身をするつもりが、いつの間にか世の中の楽しさに捕えられていたからです。私はこのままではいけないと思い、主に祈り求めるようになりました。主は私の葛藤の祈りに応えてくださり、ヨハネの福音書二十一章十五、十七節の御言葉を与えて下さいました。私はこの御言葉を主からのものだと思し、KBIに入学する決心をしました。

この一年間の学びや訓練を通して、さらに主の声を聞き、一歩ずつ主の備えてくださる道を歩んでいきたいと思えます。



入学の証



一年 長谷川みちる

私は、大学二年の夏、教会の学生会キャンプに参加し、その集会で開かれた聖書のみ言葉によって献身したいという思いが与えられました。「こういうわけで、わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれているのであるから、いっさいの重荷と、絡みつく罪とをかなぐり捨てて、わたしたちの参加すべき競走を、耐え忍んで走り抜こうではないか。信仰の導き手であり、その完成者であるイエスを仰ぎ見つつ走ろうではないか。:(ヘブル人への手紙十二章一、二節 口語訳)」

く、信仰のレースのように、次の人へとバトンを渡していったのだと感じました。そして、神様の大きなご計画の中で私も信仰のバトンをもらい、主のために走り出したいと思いました。その日から、神様に用いていただく歩みができるようにと祈り始めました。

大学卒業後、小学校の教員として三年間働き、昨年神学生となって母教会で学びと奉仕をさせていただきました。

そして、今年の春、KBIに導かれて、同じ志をもつ多くの仲間と出会い、新しく学びをスタートすることができました。あたたかく迎え入れて下さった先生方、スタッフの皆様、先輩方に感謝します。日々の交わりの中で、どんなことも分かち合い、折り合うことができます。また、一緒に賛美の練習をする時間が、とても楽しいです。一日一日が、本当に神様の恵みに溢れています。

ここで信仰が養われ、人格が整えられて、神様に用いていただける者になりたいと願っています。



三週間コースの証



一年 堀 伸行

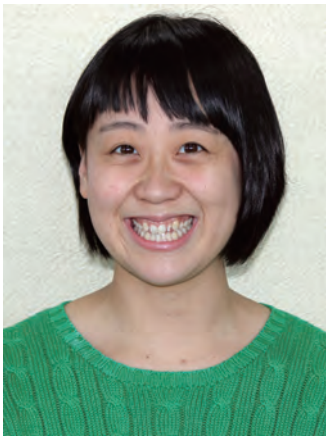
結婚後、仕事と、神様に喜ばれる教会生活をしてきました。十二年勤めた会社を退職し、次の進路を祈り求めていた中で、三週間コースに導かれ入学しました。賛美が始まると同時に涙が溢れ、十字架が押し迫ってきました。

今まで、イエス様の十字架によって赦され喜んで仕えていましたが、いつのまにか「奉仕しなければ」「礼拝に出席しなければ」「喜ばなければ」と、祈りさえも律法的になり、祈らない人を裁いていた自分に気付きました。祈祷会で皆の証を聞き、授業で新生と義認を学ぶ中、福音の本質を見えなくしていた覆いが、少しずつ剥がれ落ちていきました。罪人の私が義とされた恵みにこれからも感謝し続けていきます。

三週間コースの証

一年 荒川 朱香

KBI神学の学びの中で、「自分が信じたからではなく、イエス・キリストの十字架があるから罪が赦されたのだ。神はイエス・キリストの中に私を見たから、私の罪は赦されたのだ。」と聞いて、本当にイエス様は私の罪の為に、十字架によって死なれたのだと、知識としてではなく、心で受け止めることができました。そして、その言葉とKBIでの生活の中で神様をより身近に感じられるようになりました。また、ずっと神様から離れていた私をここまで守り、導いて下さった神様のご計画は、私の想像を遥かに超えたものであると分かりました。これから人生を神様に委ねて歩んでいきたいと改めて思いました。



●二〇一六年度 入学生●

三週間バイブルコース

- 黒田 隼(ペンキョーゴスベルセンター)
- 荒川 朱香(峰町キリスト教会)
- 上野 望(塩釜聖書バプテスト教会)
- 喜多 結衣(堺福音教会)
- 桐畑 恵美子(国分福音教会)
- 多比良 愛(総持寺キリスト教会)
- 山田 一恵(高砂教会)

本科コース

- 田村 一希(峰町キリスト教会)
- 羅 泰日(青森バプテスト教会)
- 廣瀬 開(町田純福音教会)
- 堀 伸行(IGA上野福音キリスト教会)
- 弓田 智(有明バイブルチャーチ)
- 山田 成也(箕面福音教会)
- 饒平名 基喜(与儀ファミリー教会)
- 石塚 未佳(札幌キリスト福音館)
- 岩井 輝子(鈴鹿キリスト福音教会)
- 佐藤 環(湘南グレースチャペル)
- 長谷川 みちる(大和カルバリーチャペル)
- 深田 侑亜(名古屋グレイスキリスト教会)
- 藤田 元美(福井自由キリスト教会)
- 光山 章姫(東京グレイスキリスト教会)
- 山崎 琴葉(雲井キリスト福音教会)

CPRCコース

(教会開拓・刷新コース)

- 清水 孝弘(荒野教会)
- 中山 聖一郎(岡山チャペル)
- 藤原 登(草津キリスト教会)
- 森田 繁雄(雲井キリスト福音教会)
- 桐島 幸子(奈良佐保キリスト教会)
- 中阪 恵美(堺シオン福音教会)
- 永田 厚子(南大阪福音教会)



授業探訪



「人をイエスさまの ところへ連れて行く 伝道の働き」

大津バプテスト教会

浜崎英一師

主の召命に應えて主の働き人としての学びと訓練を受けておられるKBIの学生の皆さん、三週間コースの特別講義で、二日間でしたが、充実した、また楽しい時をもたせて頂き感謝しています。若い皆さんはいいな、うらやましいなーというのが率直な気持ちです。

今回は特に、「バイブル・ストーリーによる伝道と成長」と題しての講義とグループでの実践でしたが、皆さんがこれに予想以

上に良い反応を示してくださり、嬉しく思いました。

信仰生活が長くなると、どうしても自分の関心事に重きがいつて、未信者への伝道のことが後回しになりやすいものです。ところが、伝道に重荷のある人とは、お聞きした時、五〇名あまりの参加者の中で沢山の方が手を上げてくれました。

一般的に未信者に聖書の話をすることは、難しいことのように思われているところがあります。わたしは聖書を通して、新しい人をイエスさまのところへ連れて行く伝道の働きは、誰にでも出来ることで、特別に難しいことではないという確信が与えられてきました。そのことを二日間の講義で精一杯伝えたいつもりですが、学生の皆さんはどうでしたか。自分もやれそうだが、やってみようという思いが起こされたでしょうか。

活字依存から離れて、聖書を見ないでバイブルストーリーをイメージしていくことで、共にイエスさまのところに行くやり方は、未信者の方にも難しいという印象を与えないやり方だと思っっています。グループでの実

践を通して、そのことが理解できたでしょうか。

このやり方ですと、伝道もクリスチャンの信仰の成長も、そして教会形成つまりキリストのからだを建て上げることも、それぞれは別々のことではなく、一つにつながっていることも分かってもらえたでしょうか。

それはそれとして、私たちはすでに達しているところを基準として、進むべきです。(ピリピ三章十六節 新改訳)



「自己発見型聖書研究」 を受講して

三年 久保献一

私は自己発見型聖書研究を受講してみ、実際にこの手法を用いて聖書を学び、伝道していきたいと思いました。それは以下の四つの理由があるからです。

- ①未信者の参加を想定している。
- ②聖書を開かずにもそのストーリーを伝え学ぶため、場所や年齢を問わずに参加できる。
- ③形式は一方的なものではなく、リード役の質問に対して参加者が自由に発言でき、互いを知り合うことができる。
- ④分かりやすい言葉で聞く聖書のストーリーや質問、参加者の発言などを通して、自分自身で気づくのを助けてくれるので、印象に残りやすい。

今回はこの手法を用いて学生間で聖書研究を実践しました。その講義の中で私は新しい気づきと発見がありました。このように参加者と共に学べる聖書研究を通して、未信者が自然に御言葉に触れ、目が開かれて、イエス様と出会い、救いに導かれることを信じ願っています。

KBIオリジナルCD発売のお知らせ

「Worship×100」から、十年...。
ニッポンをとりなす声を、天に向かって上げよう。
KBI 関西聖書学院の生徒による、オリジナル賛美全9曲収録。



収録曲

- 1 VOICES TO HEAVEN
- 2 BREAK THROUGH
- 3 あなただけに
- 4 我が罪のため
- 5 TAKE MY HAND
- 6 主の勇士
- 7 御前にひれふして
- 8 ニッポン
- 9 WALK MAN
- 10 キリストのからだだから《ボーナストラック》

2016年5月27日発売 定価1,000円税込
iTunesでも、購入いただけます。

購入のお申し込みは、メールにて承ります。

事務室メール // kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
特設サイト // voicestoheaven.wix.com/kbicdproject

●奉仕教会●(母教会奉仕は除く)

一年生

田村 一希 (八尾南福音教会)
廣瀬 開 (須磨自由キリスト教会)
羅 泰日 (One Way Church
Be - one Net Work)

弓田 智 (山の辺クリスチャンセンター)

饒平名 基喜 (香芝ゴスペルチャーチ)

石塚 未佳 (ベテル清水教会)

岩井 輝子 (堺シオン福音教会)

佐藤 環 (ゴスペルライブ)

長谷川 みちる (ヒルズチャーチ)

光山 章姫 (川西福音教会)

二年生

紙野 雄平 (瀬戸サレム教会)

齋藤 友良

(シヤローム希望教会 第一・三日曜)

敦賀自由キリスト教会 第二・四日曜

山下 裕平 (奈良福音教会)

大塚 マリ

(生駒インターナショナルチャペル)

佐々木 望 (狭山福音教会)

長野 有花子 (垂水福音教会)

三年生

上野 哲志 (アドラムキリスト教会)

大角 詩音 (北鈴蘭台教会)

小川 祐司 (ゴスペルチャーチ千里)

鈴木 孝紀 (明石福音教会)

長尾 悟 (千代田福音教会)

金子 智恵 (園田チャペル)

平山 利香 (岬福音教会)

●教師会報告●

去る五月一七日、新緑の生駒を一望できる図書室で今年度一回目の教師会が持たれました。

レギュラーの先生方に加え、新しく教師として加わって下さっている李守師(香芝ゴスペルチャーチ)と福野貴嗣師(南大阪福音教会)、CPRCの講師として来られていた辻本眞悟師ご夫妻(金沢グレイスチャペル)をお迎えして和やかな雰囲気の中で近況を分かち合い、三年生の論文指導担当教師が選任されました。

新入生・在校生の状況、三週間コースの恵みの報告、年間行事の確認と話は進み、秋の実践神学シンポジウム(テーマ「教会の再生と刷新」主講師・エドモンド・テオ師)のプロگرامが紹介されました。

また、『学院の将来ビジョンと今後のカリキュラム編成方針』という議題の中では、これまで主眼としてきた、現場の伝道者、教会形成者、宣教師の養成という方向を堅持しつつも、国内の教会再生と増殖に踏み込んで関わっていただける人材の育成を目指していきたい、という今後の方向性が打ち出されました。

また、KBIはあくまで学び方を学ぶところであり、三年間という限られた時間の中では学べることに限りがあるので、卒業後も自分で学ぶ姿勢をもった器になってほしいという思いが込められていました。KBIの今後につながる有意義な二時間半でした。

ご献金感謝します

献金者名簿（日付順・敬称略）（2016.2.16～5.15）

■一般会計献金

<KBIを支える会>

個人:兼松千佳子、安食弘幸、大田裕作・伯子、岩本美保、安黒務、伊達山洋子、黄金井尚美、門谷暎一、斎藤邦夫、大塚泰文、兼松道子、安野清子、石崎政登、田中憲昭、出原市子、増永弘、奥間隆伸、橋本哲哉・那苗、井野葉由美、福元玲子、南沢順子、上坂進、菅沼威、山口美恵子、熊本直美、豊村善典、福田徹生、川崎里美、秋元清友、山田裕一、山本篤、新門広美、真島義典、日向さやか

氏名不詳2名

教会 & 団体:札幌キリスト福音館、旭川神愛キリスト教会、ミッション宣教の声、箕面福音教会、北浜キンターショナルバイブルチャーチ、八尾南福音教会、京都シオンの丘キリスト教会、奈良福音教会、久留米ベテルキリスト教会、千代田福音教会、関西カルバリーフェローシップ、尾上聖愛教会、高砂教会、チャペル犬山、宝塚福音教会、狭山福音教会、小森野キリスト教会、生駒福音キリスト教会

<運営支援献金>

1. 支援団体献金

伊勢原聖書キリスト教会、犬山キリスト純福音教会、フィラデルフィヤチャーチ（シアトル）、岐阜純福音教会、御殿場純福音キリスト教会、岐阜純福音大森チャーチ、鶴見純福音教会、ジャパン・ベサニー・ミッション、保土ヶ谷純福音教会、KBI 支援協力会（神戸フィラデルフィヤ教会、須磨自由キリスト教会、北広島自由キリスト教会、瀬戸サレム教会、南部キリスト教会、丸岡福音キリスト教会、勝山自由キリスト教会、敦賀自由キリスト教会、武生自由キリスト教会、福井自由キリスト教会）小松ベタニヤ福音教会、犬山キリスト純福音教会、フィラデルフィヤグループ合同集会（TPKF イースト諸教会）

2. 特別献金

個人:中坊久行・洋子、小森康三・仁美、高橋富廣

教会 & 団体:狭山福音教会、犬山キリスト純福音教会、垂水福音教会、関西カルバリーフェローシップ

■奨学基金献金

個人:芝連代、金森徹・和子、竹川正英、轟節雄、古川美津子、出原市子、森本裕・真美子

教会 & 団体:堺福音教会、関西カルバリーフェローシップ、生駒福音キリスト教会

■建設基金献金

個人:春名裕

教会 & 団体:岐阜純福音教会、秦野クリスチャンセンター、伊勢崎神愛キリスト教会、関西カルバリーフェローシップ、生駒福音キリスト教会

● 2015年度 KBI 会計報告 (2015.4.1~2016.3.31)

| | | | | | | |
|-------|------|------------|------------|------------|-------------|------------|
| ①一般会計 | (収入) | KBIを支える会献金 | 4,835,160 | (支出) | 維持管理費 | 9,912,935 |
| | | 支援団体献金 | 15,956,213 | | 経営費 | 14,363,127 |
| | | 特別献金 | 3,508,737 | | 人件費 | 18,279,946 |
| | | 学生経費他 | 28,639,294 | | 建設会計への繰入金 | 8,000,000 |
| | | 前年度繰越金 | 2,854,511 | | 奨学基金会計への繰入金 | 1,000,000 |
| | 収入合計 | | 55,793,915 | | 退職金引当金 | 1,000,000 |
| | | | | | 教師育成助成金 | 500,000 |
| | | | | | 次年度繰越金 | 2,737,907 |
| | | | | 支出合計 | | 55,793,915 |
| ②建設会計 | (収入) | 特別献金 | 513,405 | (支出) | 各種対策工事費 | 3,377,120 |
| | | 資産管理収入 | 4,897,000 | | 施設利用維持管理費 | 441,056 |
| | | 一般会計からの繰入金 | 8,000,000 | | 教職舎リフォーム費 | 8,000,000 |
| | | 前年度繰越金 | 1,207,561 | | 次年度繰越金 | 2,799,790 |
| | | 収入合計 | | 14,617,966 | 支出合計 | |
| ③奨学基金 | (収入) | 奨学基金献金 | 1,115,000 | (支出) | 奨学金支給 | 154,240 |
| | | 一般会計からの繰入金 | 1,000,000 | | 次年度繰越金 | 3,269,953 |
| | | 前年度繰越金 | 1,309,193 | | 支出合計 | 3,424,193 |
| | | 収入合計 | | 3,424,193 | | |

●OB・OG通信●

《牧師按手式》

四月二十四日

飯田結樹師 札幌キリスト福音館

四月二十九日

小嶋啓太師 エレベートチャーチ

五月一日

荒川聖志師 浜松汀キリスト教会

《正教師任職式》

五月一六日

小森康三師 高砂教会

《宣教師派遣》

四月二二日

三年余りの待機を経てI国へ再出発されました。

五月二六日

約二ヶ月の滞在中にビザが与えられ、インドネシアへ再出発されました。

六月二日

母教会(カリスチャペル)中心に支援体制が整えられ、タイへ出発されました。

六月七日

三ヶ月の巡回奉仕を終え、ドイツに再出発されました。

六月九日

第二期のため、モンゴルへ出発されました。

六月二〇日

まずは友人(佐伯淳平師)と二人で出発。現地で体制を整えてから家族と再出発します。

六月二二日

新たな意識と共にN国へ出発されました。

●行事予定●

九月六日(火) 二学期始業

九月二七日(火) ~三〇日(金) 日本伝道会議(JCE6)

一〇月四日(火) ~七日(金) 前期テスト

一〇月一日(火) 後期スタート

十一月二日(土) ~三日(日) KBIを覚える日

十一月二五日(金) 実践神学シンポジウム

十二月八日(木) 二学期終了

一月一〇日(火) 三学期始業

二月二一日(火) ~二四日(金) 後期テスト

三月九日(木) 卒業派遣式

●記念植樹について●

生駒キャンパスに、教会や個人の記念日などの記念植樹をされてみませんか。キャンパスを木や花で満たして下さい。また、教会で不要になった植木などございましたら、ぜひ、献品をお願いします。

●計報●

六月二二日(火) 未明、神田宏大師が召天されました。晩年はキリシタン史研究に献身され、走り抜かれた生涯でした。